

関西哲学会2020年度第73回大会（オンライン大会）
——発表論文のダウンロードと、論文に対する「質問」の要領について——

すでにご案内のとおり、コロナ禍のため、2020年度第73回大会は、下記の要領にて、オンラインで行います。

I. 発表論文と、そのダウンロードについて

2020年10月9日を締切として電子ファイルの形態で受理しました発表論文は、以下のとおりです（発表題目に付された通し番号は、すでに配布済みの「関西哲学会第73回大会プログラム」のそれに従っています）。

会員のみなさまにおかれましては、適宜ダウンロードの上お目通しくださいますよう、お願いいたします。

1. 現代日本における学問誕生の契機
発表者：船木みあさ（京都大学）
司 会：中畑正志（京都大学）
2. ポリテイア篇におけるプラトンの問答法による教育
発表者：東 敏徳（幼児教育専門学校・元）
司 会：金山弥平（名古屋大学）
3. スピノザの存在論における二つの時間システム
発表者：柴田健志（鹿児島大学）
司 会：松田克進（龍谷大学）
4. ヒューム因果論と生存的本能
発表者：青木眞澄（京都大学）
司 会：戸田剛文（京都大学）
5. 「真なる哲学者」と謙虚さの徳
——ヒュームの哲学への復帰の徳認識論的解釈
発表者：小泉雄紀（京都大学）
司 会：上枝美典（慶應義塾大学）

6. ヒュームにおいて宗教的信念はいかなる意味で自然なのか？
発表者：西内亮平（京都府医師会看護専門学校）
司 会：久米 暁（関西学院大学）

7. カント社公論における遊びとしての談話と議論
発表者：高木裕貴（京都大学）
司 会：中川明才（同志社大学）

8. 『純粹理性の批判』における理念の仮象とその有用性について
発表者：三輪泰之（大阪大学）
司 会：須藤訓任（大阪大学）

9. 目的概念としての「目的それ自体」
発表者：八木 緑（関西学院大学）
司 会：品川哲彦（関西大学）

10. 動くものを掴む
——体験に意味・意義を与えること
発表者：上島洋一郎（関西大学）
司 会：田端信廣（同志社大学）

11. ベルクソン哲学における自由と義務
発表者：渡辺洋平（関西大学）
司 会：佐藤義之（京都大学）

12. 絶対平和を目指す弁証法的行為の方位

発表者：川島焔三（津山工業高等専門学校）

司 会：井上克人（関西大学）

13. 初期ハイデガーにおける哲学理念の把握根拠
——その「現在」性、同時代性について
発表者：樽田勇樹（京都大学）
司 会：安部 浩（京都大学）

14. 未完成な『スピノザと表現の問題』：不十分な表現的生成の理論

発表者：佐々木晃也（大阪大学）

司会：松田 毅（神戸大学）

15. ミリカンによるドレツキ批判は成功しているか

——「意味の自然化」プロジェクトの観点から

発表者：榎本啄杜（関西大学）

司会：中山康雄（大阪大学）

II. 発表論文に対する「質問」の要領について

各発表論文につきご質問（ないしご意見。以下同じ）がおありの会員のみなさまは、下記の要領にてご質問をお寄せください。

1. ご質問は、関西哲学会事務局宛に、メールでお願いします。関西哲学会事務局のアドレスは、mail.kantetsu@gmail.com をお使いください（通常使用しているアドレスとは異なります）。

2. メールの件名を「〇〇さんに対する質問」（ないし「〇〇さんに対する意見」）の形にしてください。〇〇のところに、発表者の名前を入れてください。

3. メール本文に、まず、ご自身の所属（所属のない場合は、無記入で結構です）と氏名をご記入ください。

4. その上で、メール本文に質問をご記入ください。

5. 質問の分量は、通常の大会でのそれに準じてください。簡潔・明瞭をお願いします。

6. 質問の締切は、2020年10月23日（金）23時59分とします。

7. 同じ発表者に多数の会員からご質問をいただいた場合、「司会」担当委員にお願いして、通常の大会の質問数に準じ、発表者にお答えいただく質問を絞らせていただくことがあります。

8. 質疑応答の結果は、2020年11月の第2週に、本サイトへアップロードする予定となっています。ふるってのご質問、よろしくお願いいたします。